



(無断転載を禁ず)

秋田ふるさと検定試験 問題用紙

(午後 1 時 30 分開始 制限時間 100 分)

第14回 1級

注 意 事 項

1. 答案用紙の記入にあたっては、HB 又は B の黒鉛筆、シャープペンシルを使用すること。
2. 解答はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 問題に解答を「漢字で書きなさい」と記載している場合は、ひらがな、カタカナ表記は不正解とします。

2022年9月4日

秋田県商工会議所連合会

【歴史】

（問題 1）

明治以前の人々の生活にとって不可欠なものとして水と燃料の問題があった。城下町には武士のほかに武士社会を支える数多くの商工業者が人口密集地を形成する程、集住していた。城下秋田の場合、飲料水は仁別川（後に旭川という）と、川の周辺に作った井戸を使い確保していたことが町記録でわかる。次に食事、入浴、暖房などのため、燃料として薪や炭が利用されていたが、城下住民が日々必要とするこれらの燃料を絶えることなく確実に供給し続けなければならなかった。「黒沢家日記」などを見ると薪や炭が、どこから送られて来るかが克明に記録されている。これらの記録の中に「北浦上木壺釜」などの表記が目立がこの「北浦」とは現在のどの地域を示しているか書きなさい。

（問題 2）

今年の 5 月末から大仙市高梨の池田家米蔵で、秋田県指定有形文化財大仙市星宮遺跡出土の縄文晩期の遮光器土偶が展示された。特色ある目の表現と肩から胴部分にかけての雲形文が装飾効果を高めている。この土偶はほぼ完形に近いもので県内でも珍しいものと評価されている。この遮光器土偶の文様は隣県青森出土の文様に極めて類似しており大洞 BC～C1 の土器の時期に作られたと考えられている。この土偶の文様は青森の遺跡地名を付けて一般に〇〇〇式土器の文様と言われている。文中の〇〇〇式の部分にその地名を書きなさい。（3 字中に 1 文字片仮名が入る）

（問題 3）

1889(明治 22)年 2 月 11 日、大日本帝国憲法が公布された。帝国議会は対等の権限を持つ衆議院と皇族と世襲もしくは互選により選出される華族の議員と天皇が任命する勅選議員及び各府県 1 人の多額納税者議員からなっていた。衆議院と対等の権限を持つもうひとつの院名を漢字で書きなさい。

(問題4)

次の記述について、A・Bに当てはまる最も適切な語句を漢字で書きなさい。

平安時代、出羽国仙北地域で律令政府に服属していた蝦夷のことを【 A 】と称していたが、清原氏はその【 A 】の長で当地方に数多くの一族を配置し それぞれの地域を開発する主であるとともに、一族・郎党を武装化している強力な武士団でもあった。清原氏の根拠地はいまだ明確ではないが、横手の【 B 】山遺跡はその候補地のひとつである。

(問題5)

次の記述について、A・Bに当てはまる最も適切な語句を漢字で書きなさい。

藩政後期、旧黒沢家住宅に居住していた黒沢氏は戦国期横手小野寺氏の重臣で山内黒沢城主であったが、佐竹氏の秋田入部後佐竹氏家臣として採用され、家老【 A 】に協力して二度の領内一斉検地に参加。その後、院内銀山の山奉行となり、大坂冬の陣の【 B 】合戦での武功により二代将軍徳川秀忠から感状を与えられている。

(問題6)

江戸時代、秋田県には佐竹氏をはじめ複数の大名がいたが、これらの大名家の菩提寺を例にならって漢字で二つ書きなさい。

例 徳川氏 寛永寺

(問題7)

戊辰戦争下、身分は商人でありながら秋田藩勝利のため、財政的に支援活動に従事し藩政を支えた増田出身の人物と六郷出身の人物の二人を漢字で書きなさい。

(問題 8)

次の説明で、誤っている箇所を 2 箇所見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

秋田藩 8 代藩主佐竹義敦は領内鉱山の衰退や居城の火災などによる財政悪化への対策として院内銀山再開発のため洋学者の平賀源内と佐渡金山の山師吉田屋理兵衛を幕府の協力のもと秋田に呼んでいる。その結果は後年成果として表われている。

(問題 9)

次の説明で、誤っている箇所を 2 箇所見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

寛永 17(1640) 年、讃岐国 17 万石松山城主の生駒高俊は家臣間の対立事件である生駒騒動の責任を問われ、由利の仁賀保に配流となり賄料 1 万石を与えられた。当初の領地は旧仁賀保氏領 7,000 石と旧打越領 3,000 石であったが、改易が言い渡された直後、生駒氏領のうち、金浦・塩越の一部と岩城氏領東由利の同額石高の所領交換が成立し、生駒氏は矢島・鳥海地域、東由利地域、仙北大沢地域そして仁賀保地域の一部を領地とすることになった。

(問題 10)

秋田城が持っていた機能・役割を次の 3 つのキーワードを必ず使用して、150 字から 200 字以内で説明しなさい。

「国府」

「渤海」

「元慶の乱」

【観光】

（問題 1）

秋田市大森山動物園には、ゼニタナゴ、シナイモツゴなどの「絶滅のおそれのある生き物」が生息し、環境省から生物多様性の観点から重要度の高い湿地と指定される水辺がある。その名称を書きなさい。

（問題 2）

過疎化が進む架空の「秋田県鷲谷町」を舞台に中学生の葛藤や心の成長、大人たちの地域愛などを描いた物語で、2021 年 10 月公開の映画「光を追いかけて」のメインロケ地となった市町村名を書きなさい。

（問題 3）

幻の東京オリンピック開催に向け、日本を訪れる外国人観光客のための宿として政府の要請で建てられたホテルのひとつ。北東北の宮大工 80 名を集めて天然秋田杉の巨木を巧みに配した木造三階建てのホテルが昭和 14 年に開業した。秋田杉を使用した外観や玄関の吹き抜けは歴史と伝統を讃え、「近代化産業遺産」「登録有形文化財」にも指定される格式の高いホテルとして、今尚人々を迎え入れている。宮大工の魂を感じる圧倒的な建築美を誇るこのホテルの名称を書きなさい。

（問題 4）

大湯温泉郷の記述について、A・Bに当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

開湯 800 年の歴史があり、江戸時代にはこの地を治めていた【 A 】藩主の保養地になっていた。花輪から毛馬内、大湯を経て三戸に続く、【 B 】街道の宿駅として、行き来する人々の休憩地や近隣の鉾山で働く人々の保養地としてもにぎわいを見せていた。

(問題5)

秋田市民俗芸能伝承館の記述について、A・Bに当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

竿燈をはじめとする秋田市の民俗行事や芸能の保存伝承を目的とする文化施設。秋田市民には愛称で親しまれている。その名は竿燈の起源といわれる七夕行事【 A 】に由来している。隣接して、江戸時代後期の伝統的な建物として秋田市の有形文化財に指定される旧【 B 】家住宅がある。

(問題6)

今年9月23日にグランドオープンする秋田芸術劇場ミルハス。かつてこの敷地には、明治37年に建設されたルネッサンス式の洋館が、同館が大正7年に焼失した同年に建設され昭和34年まで秋田の文化の殿堂として長く親しまれた同じくルネサンス様式の施設が、それぞれあった。建設された順に二つの建造物の名称を書きなさい。

(問題7)

鎌倉時代初期から約400年もの間県南一帯を治めていた小野寺氏の居城跡に建てられた観光施設としての「城」。館内2階の産業ゾーンには純金箔張りの黄金の間があり、その豪華さはもちろん、地域の伝統産業である漆器と仏壇の技術が活かされた匠の技に驚嘆させられる。旧町村名がそれぞれに付けられた、城の名称と伝統工芸品に指定される漆器の名称を書きなさい。

(問題 8)

仙北市立角館樺細工伝承館の記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

伝統工芸品「角館の樺細工」の継承・振興を図るための施設。江戸時代に樺細工創始者が作った作品や、目の前で伝統工芸士による製作実演を見学することができる。そのほか、角館地域を治めていた佐竹東家由来の甲冑や古文書など藩政時代の資料や、白岩焼・イタヤ細工なども展示している。

(問題 9)

道の駅五城目の記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

上小阿仁村方面に向かう国道 285 号沿いにある。物産館には四季を通じて地元の農産品が豊富に揃い、食事処では名物のきりたんぼ鍋、カフェでは特産のキイチゴを使用したキイチゴソフトが人気を博している。

(問題 10)

横手市にある公園について、次の 3 つのキーワードを必ず使用して 150～200 字以内の文章で説明しなさい。

「財団法人日本さくらの会」 「千秋公園設計の造園家」 「たらいこぎ競争」

【祭り・行事】

（問題 1）

次の記述について A ～ C に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

角館（仙北市）祭りのやま（山車）行事は西勝楽町の成就院薬師堂と岩瀬の【 A 】の、いわば神仏習合の祭りといえるものである。各丁内では【 B 】という祭礼事務所のようなものが設けられていて、ここを曳きやまが通行する際には、必ず儀式的な挨拶^{あいさつ}が交^けわされる。また、各丁の曳きやまが出合うと道の通行優先権をめぐ^めって交渉があり、それが決裂^{けつれつ}する度に【 C 】がおこなわれる。やまが激しく衝突する様は圧巻である。

（問題 2）

次の記述について A ～ C に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

西木町上桧木内（仙北市）には小正月行事として近世後期から伝わるともいわれる【 A 】がある。もともとその行事は仙北地方に多くみられる小正月の火祭りであつたらしい。【 B 】で作った巨大な袋状の物を夜空に高く飛ばし上げる。一説によれば【 C 】がエレキテルと同様に科学的な仕掛けとして村人に教えたとされるものである。

（問題 3）

立春の日（二月四日）におこなわれる金浦山神社（にかほ市）の祭礼では、毎年その年一番の大鱈^{だいたら}を担いで奉納するという祭り行事がある。この祭り行事の名称を何と呼んでいるか、書きなさい。

（問題４）

比内（大館市）の扇田神明社では、春先の時期におこなわれる鎮火祭（火伏せ祭り）があるが、この祭り行事の通称を何というか書きなさい。

（問題５）

道地（能代市）では、俗に三匹獅子舞といわれる伝承芸能がある。この芸能名称の由来には、近世初めに佐竹氏が国替えのため常陸（現茨城県）から秋田に下ったときに、道中無聊ぶりようと悪漢あつかん防御ぼうぎょの意味が込められた獅子舞であったと伝えられている。その芸能の名称を書きなさい。

（問題６）

秋田県内にみられる地歌舞伎、または歌舞伎の演目そのものが採り入れられている民俗芸能を２つ書きなさい。

（問題７）

小滝（にかほ市）金峯神社の祭礼では雅楽（舞楽）の系統を引くチョウクライロ舞が奉納されている。近世の神社文書には、チョウクライロの語源を「長久生容（長く久しく生きる姿）」だとしている。こうしたことから古くは大きな神社、寺院における延命長寿を願う特別な芸能とされてきた。この信仰的芸能を何と呼んでいるか書きなさい。

(問題 8)

次は東成瀬村における仙人修行のという祭り行事の説明であるが、誤りの箇所の部分を書き出して訂正しなさい。

東成瀬村では田子内仙人下という地名に因んで、仙人の里として「仙人修行」をイベント化したのが始まりである。修行の内容は、断食・座禅・ワラジ作りのほか、不動の川水で泳いだりして清めをするなど 3 日間の修行を終えると、仙人認定書が授与される。

(問題 9)

次の祭り行事の説明で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの箇所の部分を書き出して訂正しなさい。

これは保呂羽山波宇志別神社の霜月神楽の説明である。毎年八月二十日の神社例祭に演じられる純神道系の神楽とされる。舞の源流は相当古いとされ、中世には成立していたとみられているもので、演目には岩戸開きの舞、一の宮舞、^{おきな}翁の舞、御酌の舞、^{ほうらい}宝来廻りの舞などおよそ 10 番が演じられる。囃子には胴長太鼓、締太鼓のほかに鼓が入るなど優雅な神楽の側面がみられる。

(問題 10)

白瀑神社（八峰町）神輿の滝浴びについて、次の 3 つのキーワードを必ず使用して、150 ～ 200 字以内の文章で説明しなさい。

「男滝・女滝」

「^{みそ}禊ぎ」

「海上安全」

【自然】

（問題 1）

秋田、岩手、宮城の3県にまたがる成層火山である。秋田では、大日岳とも呼ばれる。標高 1626m、山頂付近には高山植物が群生し、お花畑が見られる。昭和 19（1944）年に、水蒸気爆発が起こり、昭和湖ができた。この山の名称を漢字で書きなさい。

（問題 2）

国道 7 号線沿いの山間にある広さ約 7 ha の湿原である。ノハナショウブやモウセンゴケ、ミミカキグサ、クサレダマなどが生育し、昭和 11（1936）年、国の天然記念物に指定された。この湿原の名称を漢字で書きなさい。

（問題 3）

八幡平の南にある大深岳に源を発し、大仙市大曲で雄物川と合流する総延長 103 km の一級河川である。豊富な水量を利用して、神代、夏瀬、鎧畑などのダムが建設され、発電が行われている。上流の温泉付近からは、強酸性の熱湯が大量に湧出し、約 80 km にわたり魚のすめない川となっていたが、中和事業により、次第に魚影も認められるようになってきた。この川の名称を漢字で書きなさい。

（問題 4）

目潟火山群に関する記述について、A・B に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

男鹿半島西海岸にある一ノ目潟、二ノ目潟、三ノ目潟は丸い形をした淡水湖で、【 A 】の典型として知られている。【 A 】は、【 B 】が地下水と接触して爆発する火山で、爆発力が非常に強いため、ほかの火山と異なり、噴出物が火口付近に残らない。また、地下水面以下で爆発するため、噴火が終われば水で満たされることが多い。

(問題5)

風の松原に関する記述について、A・Bに当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

能代市の海岸沿いに連なるクロマツ林で、総面積は約 760 haである。厳しい海風による【 A 】を防ぐために、【 B 】時代に植栽されたのが起源で、現在約 700 万本が茂る。天の橋立、虹の松原、三保の松原、気比の松原に並ぶ日本五大松原の一つである。「21 世紀に残したい日本の自然 100 選」などにも選ばれている。

(問題6)

鳥海山の標高 690m にある桑ノ木台湿原は、6 月の晴れた日には、鳥海山を背景にレンゲツツジなどが咲く景観が人気を呼び、多数の人が訪れるようになった。現在は、木道が整備され、木道を歩きながら湿原の植物を観察できるようになった。桑ノ木台湿原に群落で生育する植物を 2 種答えなさい。答えは、和名（名前）をカタカナで書きなさい。但し、レンゲツツジとコケ類は除く。

(問題7)

鳥海山の大規模な山体崩壊により発生した岩なだれにより、冬師湿原や象潟などが形成された。この岩なだれの下敷きになった樹木が「埋もれ木」と呼ばれている。にかほ市の冬師や釜ヶ台地区では、土中からスギなどの埋もれ木が掘り出されていた。この埋もれ木を調べて、鳥海山の山体崩壊は、縄文時代晩期の紀元前 466 年に起こったことが分かった。平成 26 (2014) 年と翌年に、日本海沿岸東北自動車道象潟インターチェンジの工事現場で、広葉樹の埋もれ木が多数出土した。この時に出土した広葉樹を 2 種答えなさい。答えは、和名（名前）をカタカナで書きなさい。

(問題 8)

次の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

小又峡は小又川の上流、太平湖に注ぐ支流に発達した溪谷である。太平湖を遊覧船で渡り、渡船場から遊歩道を進むと多くの滝が見られ、川底には大小さまざまな噴湯口が見えてくる。千畳敷のような岩盤、3 段になって流れ落ちる三階滝、横滝などが見られる。

(問題 9)

次の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

サワガニは、日本では北海道、青森、岩手、秋田に生息し、大館市がその生息の南限となっている。外来種のアメリカザリガニよりも小型で体長 7 cm 程度である。アメリカザリガニと異なり、清澄な水にしか生息できないため、国の天然記念物指定を受けている大館市でも個体数の減少を防ぐ対策を講じている。

(問題 10)

八郎潟について、次の 4 つのキーワードを必ず使用し、120 字程度の文章で説明しなさい。

「琵琶湖」 「汽水湖」 「うたせ舟」 「干拓事業」

【生活文化】

（問題 1）

バラ盛りが有名な秋田名物のシャーベットの名称を書きなさい。

（問題 2）

ヤマザクラの樹皮を用い茶筒などに貼り付けて、磨きをかけて加工する伝統的工芸品の名称を書きなさい。

（問題 3）

鹿角市出身の民俗学者で、衣食住と女性に関わる民俗に注目して研究した人物の名前を書きなさい。

（問題 4）

じゅんさいの記述について、A・Bに入る語句を書きなさい。

初夏に出回るじゅんさいは【 A 】科の多年草で、ゼリー状のぬめりのある若芽を食用とする。主な産地は【 B 】で、日本一の生産量を誇る。

(問題5)

秋田の窯業（焼き物）について、A・Bに当てはまる語句を書きなさい。

【 A 】は藩政時代に相馬（福島県）の陶工が開いたのが始まりとされ、明治時代に廃窯となったが、昭和 50 年に復興した。【 B 】も藩政時代に寺内瀬戸座（秋田市）から陶工を招いて創業し現在まで続く窯で、どちらも海鼠釉と呼ばれる釉薬に特徴がある。

(問題6)

秋田民謡「秋田音頭」で歌われて、江戸時代から現在まで続く秋田名物の名称を2つ書きなさい。

(問題7)

大館市生まれで、太平洋戦争以前に活躍した歌手・上原敏が歌ったヒット曲の名称を2つ書きなさい。

(問題8)

西馬音内そばに関する記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

西馬音内そばは文政元（1818）年に創業した「弥助そば」が元祖といわれ、つなぎにヤマイモを使ったコシの強いそばで、冷たいそばの冷やがけが特徴である。

(問題 9)

版画家・勝平得之の記述の中から誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

秋田市生まれの勝平得之は、独学で版画の技法を習得し、一貫して秋田の風景・風俗を版画に表現した。多くの作品は秋田市立千秋美術館の勝平得之記念館が所蔵している。

(問題 10)

秋田銘酒(日本酒)について、次の 3 つのキーワードを必ず使用して、200 字程度の文章で説明しなさい。

「雪国」 「山内杜氏」 「秋田酒こまち」

【産業】 1 級

（問題 1）

卓越した技を伝承し、秋田の酒を造り続けてきている杜氏の名称を漢字で書きなさい。

（問題 2）

秋田木材株式会社（のちの秋木工業株式会社）を設立し、地元木材業界に多大な貢献を果たし「木都能代の父」と称される事業家の名前を漢字で書きなさい。

（問題 3）

鷹巣―角館間全長 94.2 km で「秋田内陸線」を運行する第三セクターの鉄道会社の名称を漢字で書きなさい。

（問題 4）

次の記述について、A・B に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

法改正以前から一般乗合旅客自動車運送事業者に該当していた路線定期運行バス事業者は、県北を基盤とする【 A 】、県央地盤の秋田中央交通㈱、県南・由利本荘地盤の【 B 】、および県内では高速バスのみ運行するジェイアールバス東北㈱の 4 社である。

（問題 5）

次の記述について、A・B に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

秋田県の平成 30（2018）年の畜産産出額は 359 億円で、農業産出額全体のおよそ 20% を占め、畜産は米に次ぐ基幹作物となっている。畜種別の畜産産出額は【 A 】が最も多く、次いで【 B 】、肉用牛の順となっている。

（問題 6）

令和元（2019）年 9 月 12 日現在、秋田県内で風力発電の設備容量が大きい上位 2 つの市町村名を書きなさい。

（問題 7）

「秋田新幹線こまち」の始発駅、終着駅となる 2 つの駅名を書きなさい。

（問題 8）

秋田県内を通る国道に関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

平成 29（2017）年 4 月 1 日現在、秋田県内を通る国道のうち、国管理は 7 号（新潟市～青森市）、13 号（福島市～秋田市）、45 号（盛岡市～秋田市）の 3 路線である。

（問題 9）

天然秋田スギに関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

天然秋田スギは、年輪の幅が狭く、均一な木目をもち、強度に優れるという特徴を持ち、その林は日本三大美林の一つとされる。雄物川流域が産地として知られ、木材産業が発達した。

（問題 10）

秋田県の米について、次の3つのキーワードを必ず使用し、150字から200字以内で説明しなさい。

「依存度」 「あきたこまち」 「サキホコレ」

